

令和 8 年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第 1 回専門部会（合同部会）を開催しました

「住み慣れた地域で暮らし続けることができる上越地域」を目指していくために、令和8年度から10年度までの3年間、一緒に部会活動をしていく委員の皆さんと第1回専門部会を開催しました。

《開催日》 令和8年7月28日（火）

《会 場》 上越市市民プラザ

《出席者》

入退院時連携推進部会：9人

在宅療養支援部会：8人

自立支援啓発部会：9人

上越地域在宅医療推進センター：1人

事務局：10人 計37人

◆合同部会

7月14日に開催した在宅医療・介護連携推進協議会の報告及び上越地域が目指す在宅医療・介護連携について、事務局から説明を行った後、各部会に分かれて意見交換を行いました。

◆入退院時連携推進部会

部会長：関谷 順子 委員

（上越あたご居宅介護支援事業所）

副部会長：滝沢 いつ子 委員

（上越地域医療センター病院

患者支援センター入退院支援室）



○部会のねらいは「医療側と介護側で必要な情報共有や意見交換を行い、円滑な入退院支援を実施することで本人が安心して望む生活を送ることができる」です。

○今回の部会では、ねらいを達成するための評価指標と今後必要な取組について意見交換を行いました。

○評価指標としては、入退院時情報連携加算の算定回数など支援者側の数的評価を考えました。さらに、職場で実施している指標はないか意見交換を行い、市民向けに行っているアンケート等で入退院に関する市民の気持ちを聞くことができないかなども検討しました。

○今後は、医療側・介護側の相互理解や関係づくりの推進に向け、医療機関を会場とした入退院支援に関する多職種研修会を企画します。また、既存の連携ツールの更なる活用を目指して意見交換を行います。

第2回部会：10月5日（月）19時～

上越市市民プラザ 第7会議室

◆在宅療養支援部会

部会長：川澄 幸子 委員

（高田西城病院認知症疾患医療センター）

副部会長：池田 里江子 委員

（さくらメディカル訪問看護ステーション高田）



○部会のねらいは「医療・介護の関係者がチームとなり支援することで、本人の想いを尊重した在宅療養生活を継続することができる」です。

○第3期からの意見を踏まえ、本人、家族の意向確認と支援者間の情報共有や、対人支援スキルの向上のため、MC ネットの活用推進や多職種による研修会を実施していきます。

○今回の部会では、委員から各職場における課題やMC ネットの活用状況について様々な意見をいただきました。今後は MCS のグループで取組内容、実施方法、評価指標等について意見を集め、次回の部会にて具体的な取組を決定していきます。

第2回部会：10月6日（火）19時～
福祉交流プラザ 第1会議室

◆自立支援啓発部会

部会長：渡辺 浩生 委員
（介護老人保健施設 保倉の里）
副部会長：熊木 文 委員
（ふもと地域包括支援センター）



○部会のねらいは、「専門職が自立支援やACP等を理解し、実践することで、本人の望む生活や自立した在宅生活を維持することができる」です。

○今回の部会では、まずは部会委員が同じ方向を向くことができるよう、自立支援に関する実態について情報共有を行いました。

○実態としては、次のようなことが挙げられました。

- 本人の権利意識が高く、介護保険サービスを使うことが目的のような人がある。
- 介護保険サービスの利用が不要と思われる人でも、家族が世話を妬いて申請につなげる事案がある。
- 市民に介護保険の理解が進んでいないことが、適正なサービス利用につながっていない要因の一つと考えられる。介護保険の自立支援の理念を普及する必要があるのではないか。

○今後は、自立支援に関する実態の共有を繰り返し行い、本人の望む生活や自立した在宅生活を維持することを目指した具体的な取組について検討を行います。

第2回部会：9月25日（金）19時～
上越市市民プラザ 第6会議室

※7月14日に開催した、上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の報告を併せてご確認いただけると幸いです。